

・ 検査精度：

検査精度	感度 (%)	特異度 (%)
21 トリソミー	>99.9	99.8
18 トリソミー	97.4	99.6
13 トリソミー	87.5	>99.9
モノソミーX	95.0	99.0
XX 染色体	97.6	99.2
XY 染色体	99.1	98.9

・ 的中率表：

年齢	Trisomy 21		Trisomy 18		Trisomy 13		Monosomy X	
	陽性的中率	陰性的中率	陽性的中率	陰性的中率	陽性的中率	陰性的中率	陽性的中率	陰性的中率
20 歳	48.38	99.99	13.91	99.99	5.96	99.99	40.91	99.99
25 歳	51.48	99.99	15.46	99.99	6.68	99.99	40.91	99.99
30 歳	61.19	99.99	21.37	99.99	9.76	99.99	40.91	99.99
31 歳	64.30	99.99	23.68	99.99	11.09	99.99	40.91	99.99
32 歳	67.74	99.99	26.56	99.99	12.81	99.99	40.91	99.99
33 歳	71.42	99.99	30.09	99.99	15.03	99.99	40.91	99.99
34 歳	75.17	99.99	34.27	99.99	17.85	99.99	40.91	99.99
35 歳	78.89	99.99	39.16	99.99	21.37	99.99	40.91	99.99
36 歳	82.43	99.99	44.60	99.99	25.68	99.99	40.91	99.99
37 歳	85.63	99.99	50.54	99.99	30.78	99.99	40.91	99.99
38 歳	88.37	99.99	56.69	99.99	36.67	99.99	40.91	99.99
39 歳	90.85	99.99	62.90	99.99	43.18	99.99	40.91	99.99
40 歳	92.84	99.99	68.86	99.99	50.11	99.99	40.91	99.99
41 歳	94.51	99.99	74.47	99.99	57.14	99.99	40.91	99.99
42 歳	95.74	99.99	79.25	99.99	63.99	99.99	40.91	99.99
43 歳	96.75	99.99	83.54	99.99	70.42	99.99	40.91	99.99

【感度・特異度について】

感度・・・実際に染色体異常があった子供が、事前の検査で陽性とする確率のことです。

特異度・・・実際に染色体異常がなかった子供が、事前の検査で陰性とする確率のことです。

感度97.4%の場合、実際に染色体異常があった子供1000人のうち、事前の検査で、染色体異常があると出る人数が974人ということになります。1000人中26人は染色体異常がなしと出てしまう確率となります。

特異度99.6%の場合、実際に染色体異常がなかった子供1000人のうち、事前の検査で、染色体異常がないと出る人数が996人ということになります。1000人中4人は染色体異常があると出てしまう確率となります。

【陽性・陰性的中率について】

陽性的中率とは、事前の検査結果で陽性とした場合、実際に染色体異常がある確率となり、陰

性的中率とは、検査結果に陰性とした場合、実際に染色体異常がない確率を示すものです。

感度・特異度は、陽性的中率、陰性的中率とは異なります。

例：20代の場合、21トリソミーについて

陽性的中率：約50%前後

(※検査結果で陽性、半数が実際は陰性)

陰性的中率：約99.99%

(※検査結果で陰性、0.01%が実際は陽性)

例：35歳以上の場合、21トリソミーについて

陽性的中率：約90%前後

(※検査結果で陽性、約10%前後が実際は陰性)

陰性的中率：約99.99%

(※検査結果で陰性、0.01%が実際は陽性)

※同じ検査でも検査を受ける集団のうち異常がある人の比率で陽性的中率と陰性的中率は変化します。特に陽性的中率は大きく変動します。